

【公立小学校】

○安心・安全の確保

- ・安全面で子どもたちへの手厚い見守り等が必要な場合に、付き添ってもらい安全に活動することができた。
- ・交通事故や不審者対応等安全面への配慮に役立っている。

○学校行事等の円滑な運営

- ・行事（入学式、運動会、卒業式）の係の仕事を担当していただいたり、人手が足りないところを補ってくれたりするなど、教育活動をスムーズに進めることに役立っている。
- ・学校行事等では、PTAを中心としたボランティアの協力により、準備や後始末がスムーズに行われ、前後の通常の学校教育活動への支障がなくなった。

○学習の充実

- ・ボランティアの方々により、子ども一人一人に応じた適切な支援が即時に行われ、学習活動が充実し、ねらいを確実に達成することができている。
- ・外部から協力してもらうことで、子どもも新鮮な気持ちで活動できたり、教師とは違った視点からのアドバイスをもらったりでき、モチベーションが上がった。
- ・ボランティアの方々のもつ専門的な知識や技能によって、興味・関心を高めたり伝統作法や技能を習得したりするなど、教科の学習ではなかなか学びえない機会が与えられている。

○学校理解

- ・ボランティアに参加した方々が、学校のよき理解者になってくれる。
- ・教師と地域のつながりが深まるとともに、地域の方々や保護者方々の学校理解が深まった。
- ・地域の方の声を聴く機会が増えたことで、学校経営に地域住民の声を反映する機会が増えた。

○環境整備

- ・学校園の耕作等、学校の機材では困難な作業を依頼することで、管理が楽になった。
- ・職員の図書担当や児童の図書委員だけではなかなか手の回らない図書室整備をやっていただけて大変助かっている。

○キャリア教育・郷土愛

- ・子どもたちが地域の伝統文化に触れることで、地域への愛着や誇りを感じるようになった。
- ・地域の歴史や伝統を学んだり、伝統行事等に参加したりする活動を、地域の方々と子どもたちが触れ合いながら継続してきたことで、児童は自分たちの地域に誇りを持ち、地域とのつながりを深めることができた。
- ・ゲストティーチャーとして地域の人を活用し、いろいろな体験をすることで、子どもたちが地域を理解することができ、さらには郷土に愛着をもったり仕事をする人の願いを知ったりすることができた。

○教員の負担軽減

- ・児童の活動に効率化が図られ、計画通りの時間で終わることができるよう、放課後や他の教科の時間に活動がずれ込むことがなくなった。
- ・教員の業務軽減が図られ、子どもと接する時間の確保につながった。

○学校・家庭・地域のつながりの深まり

- ・子どもたちが地域の方々とふれあうことで、地域の一員としての自覚が高まった。
- ・保護者や地域の方と学校との情報交換が密になり、様々な場面での情報の共有化が進んだ。
- ・地域の方々との交流を通して、地域の良さに今まで以上に触れることができるとともに、尊敬や感謝の心が育ち、子どもたちの心の成長につながった。

○ボランティアのやりがい

- ・学校の教育活動に参加することにより、自分の持っているスキルを学校や地域に役立てることができ、大変有意義である。
- ・家庭や地域で見る子どもの様子と、学校で見る社会の一員としての子どもの様子に違いがあつて勉強になった。
- ・自分の子どもばかりでなく、学校全体として子どもの成長を見ることができるようになった。